

令和3年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報(No.17)

令和3年5月31日

網走西部地区水産技術普及指導所

5月28日に紋別海域で行った浮遊幼生調査の結果をお知らせします。

付着サイズ(250 μm以上)が多数出現。

◎浮遊幼生調査結果(表1, 図1)

ホタテ幼生の出現状況は下記のとおりです(免疫染色法による)。

【紋別】水深20m 130~300 μm 499.4個/トッ (他二枚貝744.1個/トッ)

130 μmから300 μmまで連続して出現しています。全体の出現数は前回より大幅に増加し、付着サイズ(250 μm以上)の出現数も128.7個/トッとなっています(前回31.1個/トッ)。

◎環境調査結果(表2)

水温は8.5~9.5℃台と前年同時期並となっています。塩分は表面(0m)のみ31psuで、表面以外は33psu台でした。表面の低塩は降雨によるものと思われます。

サンプル海水は、大型の動物プランクトンが主体で透明でした。

表1 浮遊幼生調査結果

		紋別(20m)	
		5月28日	
ホタテガイ	殻長	20m1回曳き	個/トッ
	130-	72	50.9
	140-	44	31.1
	150-	36	25.5
	160-	16	11.3
	170-	84	59.4
	180-	56	39.6
	190-	20	14.1
	200-	36	25.5
	210-	20	14.1
	220-	68	48.1
	230-	28	19.8
	240-	44	31.1
	250-	76	53.8
	260-	40	28.3
	270-	48	34.0
	280-	12	8.5
	290-	2	1.4
	300-	4	2.8
	計	706	499.4
その他二枚貝	1,052	744.1	

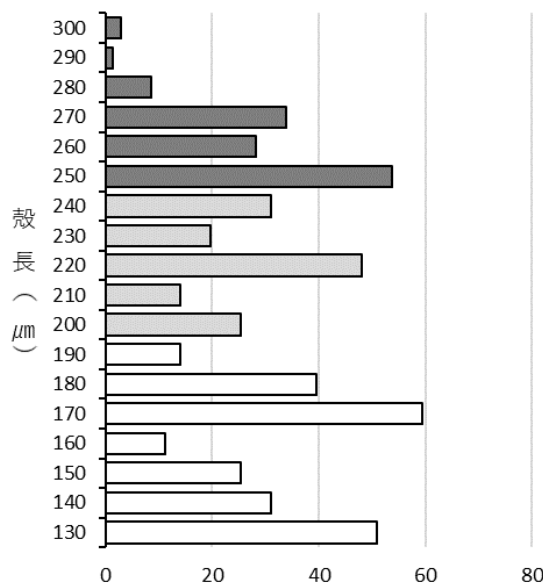


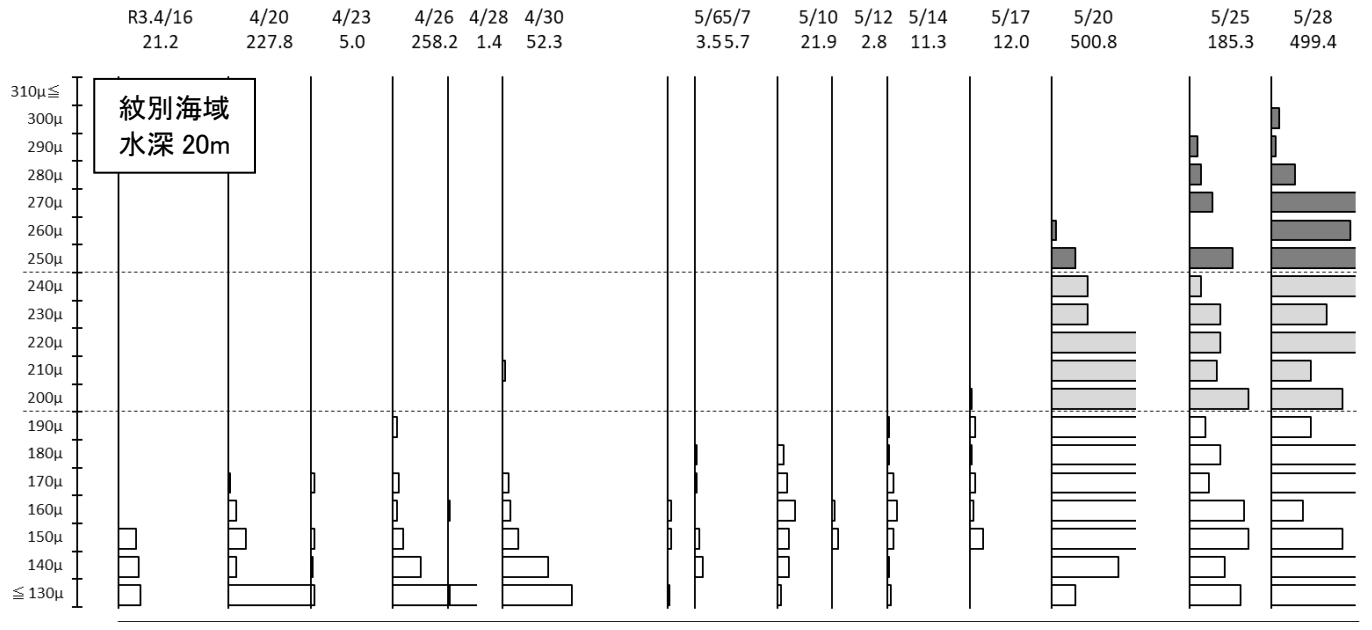
図1 5/28 ホタテ幼生出現数(個/トッ)

表2 環境調査結果

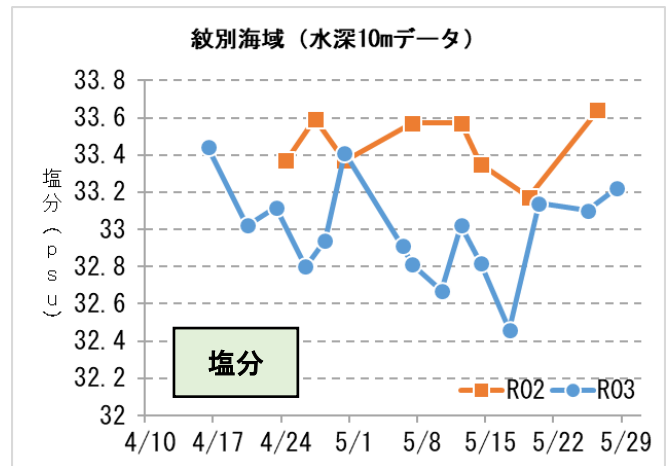
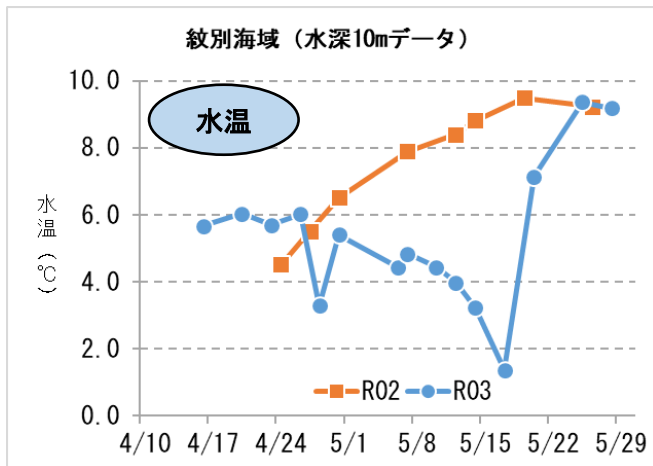
深度 m	20m	
	水温 °C	塩分psu
0	9.5	31.00
5	9.3	33.17
10	9.2	33.22
15	8.6	33.41
底	8.5	33.42

底:18.8m

◎殻長組成の推移(単位:個/トシ 表示:0~30個/トシ)



◎水温および塩分の推移



◎他地区の情報(浮遊幼生調査)

地区	調査日	ホタテ幼生			その他二枚貝	備考
		個/トシ	サイズ	モード		
遠別	5/28	平均 7.6 (5.7~9.6)	180~320	270~280	平均 39.6 (16.6~62.6)	200μ以下はほぼなし
小樽	5/25	平均 8.1 (2.5~13.1)	150~300	180~190	平均 75.7 (41.3~139.4)	250μ以上の割合が高い 付着終盤へ近づく

◎今後の調査予定(浮遊幼生調査) 6/1~3: 紋別地区